



平成 26 年 7 月 11 日
J A 中野市営農センター
J A 中野市りんご・もも部会

今回の薬剤散布は、害虫の発生密度を低下させ、盛夏期の病害虫多発を防ぐことを目的としています。よって、散布間隔は一定に保ち、場合により前倒し散布を行いましょう。詳細は下記をお読みください。

7月中下旬の薬剤散布（前回より15日後）

◆ 散布日 月 日

◆ 散布量 リットル

- | | | |
|--------------------------------|---------------------|--------------|
| ◆ 散布時期：7月20日～25日 | *注意事項①参照 | ◆ 散布量 |
| ◆ 散布薬剤：水 | 100 ^{リットル} | |
| 展着剤 | 10ml | *注意事項②参照 |
| ダニサラバフロアブル | 100ml（前日、2回） | *注意事項③参照 |
| ダーズバン DF | 33g（14日前、2回） | *注意事項④参照（劇物） |
| オキシラン水和剤 | 200g（14日前、4回） | *注意事項⑤参照 |
| スイカル | 100g（カルシウム剤） | |
| ◆ 散布量：10a 当り | 600 ^{リットル} | |
| ◆ 対象病虫害：輪紋病、炭そ病、褐斑病、斑点落葉病 | | |
| ハダニ類、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ | | |

- ① 梅雨明けが早まり、ハダニ類の発生が目立つ場合（葉裏が赤色に見える等肉眼で判断できる場合）は、上記の日程より前倒して実施する。
- ② 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、機能性展着剤のササラの 2000 倍（100 ㎡に 50ml）を使用すると薬液が葉裏（毛じ間）によく広がり、散布後の乾きも早くなる効果がある。
- ③ ハダニ類の成虫が目立つ場合は、ダニサラバフロアブルに代えて、即効性の高いスターマイトフロアブル 2000 倍（前日、1 回）を使用してもよい。
- ④ ダーズバン D F は、劇物登録薬剤です、購入の際は印鑑を持参してください。
- ⑤ シンクイムシ類の食害がある場合は、被害果を必ず採取して水没処理すること。（二次被害の発生防止）
- ⑥ カルシウム剤「スイカル」の 1000 倍は、ビターピット・果実軟化防止や果実からの油上がり予防、果実の日持ち性向上、新梢の徒長抑制などに効果があるので、必要により加用する。
- ⑦ 園全体に薬液が到達するように散布量は多めに設定する。特に園が込み合っている場合は、外周等に死角がでないように手散布等で補助する。

- 次回（8月上旬）は、盛夏期の薬剤散布になります。毎年、シンクイムシ類等の被害が大きい園では、散布間隔 10～15 日を維持しましょう！

注：裏面に「もも」と「ネクタリン」の防除が掲載されています。

【注意】梅雨明け後の高温により、モモハモグリガ・シンクイムシ類・ハダニ類の発生が心配されます。定期散布は遅れないように注意してください。

◆収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。

【ハダニ類の発生について】＊発生状況の判断が難しい場合は、園芸技術課・電話 23-3933 へお問合せください。
現在、園地によりハダニ類の発生密度が増えてきております。発生園では、今回の定期散布 3 日前までに下草刈りを実施し防除効果を高め、散布量を通常散布よりも多めに設定しましょう。
今回の散布以降、ハダニ類の多発が心配される場合は、8 月上旬（第 10 回定期防除）にコロマイト乳剤の 1000 倍（収穫 7 日前まで、1 回以内）を加用、または特別散布を実施ください。

もも

第9回 定期防除

7 月中下旬の散布（前回より 15 日以内）

散布時期： 7 月 16 日～23 日 ＊散布時期は目安です

散布薬剤：（混用順）

水	1 0 0 リットル
展着剤	2 0 ml
オンリーワンフロアブル	5 0 ml（前日、3 回）
ダニサラバフロアブル	1 0 0 ml（前日、2 回）
サムコルフロアブル 1 0	2 0 ml（前日、2 回）

散 布 量：1 0 a 当り 6 0 0 リットル

対象病虫害：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病
シンクイムシ類、モモハモグリガ、ハダニ類

【注意事項】

- ① カイガラムシ類の発生園は、コルト顆粒水和剤 2000 倍（前日、3 回）を加用する。
- ② シンクイムシ類の発生が心配される園は、サムコルフロアブル 10 に代えて、バリアード顆粒水和剤 2000 倍（前日、3 回）を散布する。
- ③ カメムシ類の発生園はアルバリン顆粒水溶剤 2000 倍（前日、3 回）を特別散布する。

散布日	月	日
散布量		リットル

ネクタリン

第9回 定期防除

7 月中下旬の散布（前回より 15 日以内）

散布時期： 7 月 16 日～23 日 ＊散布時期は目安です

散布薬剤：（混用順）

水	1 0 0 リットル
展着剤	2 0 ml
オンリーワンフロアブル	5 0 ml（前日、3 回）
サムコルフロアブル 1 0	2 0 ml（ <u>3 日前</u> 、2 回）

散 布 量：1 0 a 当り 6 0 0 リットル

対象病虫害：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病
シンクイムシ類、モモハモグリガ

【注意事項】

- ① ハダニ類の発生園はダニサラバフロアブル 1000 倍（前日、2 回）を加用する。
- ② シンクイムシ類の発生が心配される園は、サムコルフロアブル 10 に代えて、バリアード顆粒水和剤 2000 倍（3 日前、2 回）を散布する。
- ③ カメムシ類の発生園はアルバリン顆粒水溶剤 2000 倍（前日、3 回）を特別散布する。

散布日	月	日
散布量		リットル

もも及びネクタリン収穫前規制・使用回数				＊ももとネクタリンは登録内容が違いますのでご注意ください。		
もも				ネクタリン		
殺菌剤	ベルコートフロアブル	前日	3 回	ベルコートフロアブル	前日	2 回
	オーシャインフロアブル	前日	3 回	オーシャインフロアブル	前日	3 回
	オンリーワンフロアブル	前日	3 回	オンリーワンフロアブル	前日	3 回
	ナリアWDG	前日	2 回	ナリアWDG	前日	2 回
殺虫剤	アーデント水和剤	前日	3 回	アーデント水和剤	前日	3 回
	サイアノックス水和剤	21 日前	3 回	サイアノックス水和剤	21 日前	2 回
	ダイアジノン水和剤 34 (劇)	前日	4 回	ダイアジノン水和剤 34 (劇)	21 日前	3 回
	サムコルフロアブル 10	前日	2 回	サムコルフロアブル 10	3 日前	2 回
	コテツフロアブル (劇)	前日	2 回	コテツフロアブル (劇)	7 日前	2 回

農薬（毒物・劇物）をお買い求めの際には、印鑑をご持参ください。